

小山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	英語演習A	
科目基礎情報							
科目番号	0093		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	物質工学科		対象学年		4		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	TOP TIPS FOR THE TOEIC L&R TEST						
担当教員	岩崎 宏之						
到達目標							
1.日本語と英語の音声上の違いを意識しながら、英語を聞き取ることができる。 2.英文法の知識を活かしながら1つ1つの英文を読み、それらを合わせた文章全体の内容を理解することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	Part1～4の英語を聞いて、問題に70%以上正解することができる。		Part1～4の英語を聞いて、問題に40%以上正解することができる。		Part1～4の英語を聞いて、問題に対する正答率が40%に達しない。		
評価項目2	Part5の問題に正解し、その上で、なぜその答えが正しくなるのかを説明することができる。		Part5の問題について、不正解であったとしても、解説を聞いて、なぜその答えが正しくなるのか納得することができる。		Part5の問題について、不正解であったにもかかわらず、なぜそれが不正解なのか、理由を探ろうとしない。		
評価項目3	Part6～7の英語を読んで、文章全体の内容を正しく理解し、問題に正解することができる。		Part6～7の英語を読んで、問題に正解できなかった場合でも、その後の見直しで、文章のどの箇所の理解が十分でなかったのかに気付くことができる。		Part6～7の英語を読んで、文章全体の内容を正しく理解できていない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ⑥							
教育方法等							
概要	1. 受講生同士のディスカッションの時間を適宜設け、各自がその解答を導くのに当たって、どのような思考を経ているのかに触れさせる。 2. 各Unitの正答率の推移を随時振り返り、それに即した目標の設定とその達成を繰り返しながら、TOEICの実際のスコアの伸長を目指す。						
授業の進め方・方法	・各Partについて、その問題の特徴について説明をし、どのような点に留意すべきかを把握する。 ・実際に問題演習を行い、答え合わせをしながら解説を加える。						
注意点	・教科書と辞書（電子辞書も可）を、毎回忘れずに持参すること。 ・授業中の私語は慎むこと。 ・不正解だった問題については、そのままにはせずに必ず復習を行い、分からないところがある場合は、担当教員に質問すること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 日本語と英語の音声		日本語とは異なる英語の音声の特徴を理解する。		
		2週	Unit 1		Part 1 & Part 2 写真描写問題・応答問題		
		3週	Unit 2		Part 3 会話問題		
		4週	Unit 3		Part 4 説明文問題		
		5週	Unit 4		Part 5 短文穴埋め問題		
		6週	Unit 5		Part 6 長文穴埋め問題		
		7週	Unit 6		Part 7 読解問題		
		8週	Unit 7		交通—バス・電車・飛行機 分詞		
	4thQ	9週	Unit 8		メニュー・旅行日程—観光・レストラン・ホテル 前置詞		
		10週	Unit 9		販売・注文—ショッピング 副詞		
		11週	Unit 10		余暇—レジャー・エンターテインメント 不定詞・動名詞		
		12週	Unit 11		放送—メディア・広告 接続詞		
		13週	Unit 12		議題—会議・スケジュール 頻度を表す副詞		
		14週	Unit 13		オフィス—交渉・販売 現在完了		
		15週	Unit 14		面接—就活・自己PR 仮定法		
		16週	後期期末試験		既習内容の確認		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	後5
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	後4
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	後3
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	後1,後2
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	後6
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	後7
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	後10
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	後8
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	後9
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	後11
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	後12
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	後14
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	後13
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	後15
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	後12
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	後15
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	後13
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	後11
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	後10,後11	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	15	0	15	100
基礎的能力	70	0	0	15	0	15	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0